週刊
通販新聞
発行所
株式会社　通販新聞社

２０１４年（平成２６年）１２月４日（木曜日）

交差点

通信教育で講座を開始

〝書き方〟教える専門家育成へ

エンディングノート養成協会
プランナー

ペットをどうしてほしいのか。葬式はどのように行ってほしいか。葬式、墓、財産、ペット、想い出の品――。終末期や死後に備えて様々な事柄について自身の希望などを記入しておくための道具がエンディングノートだ。

遺言書のような拘束力はないが〝もしもの時に備えて〟思いを書き残しておきたいという要望に応えるためのツールだが、実際に高齢者らがエンディングノートを手にとっても書き方がわからずに困ってしまうというケースも少なくない。

そこで、エンディングノートプランナー養成協会（事務局・北海道千歳市、江川朋美会長）では通信教育による講座を開講して、書き方を指南するエキスパートを養成していく。

12月11日から開始する通信教育による講座では、教本・DVD・問題集・資料集を教材として受講者に送付する。教本にはエンディングノートの説明からプランナーの役割のほか、相続や遺言書、墓についての基本知識、あるいはプランナーが担う役割、注意点などの内容が学べるようになっている。

DVDは7人の講師がそれぞれの視点からエンディングノートについて解説。エンディングノートをどのように書けば良いかを学び、実際にノートを書く高齢者に対しての教え方を学習していく。

受講者は教本・資料集・DVDで学習を進めた後に、問題集の設問すべてに回答して同協会に提出するという流れ。受講料は2万5000円で、会費は5000円（2年間有効）。受講期間の目安は3カ月程度となっている。

同協会では今後、自治体のカルチャーセンターなどで、プランナーの資格を持った専門家が高齢者にエンディングノートの書き方を教える取り組みを推進していく。こうした取り組みによって高齢者同士のネットワークを作り、孤立死の防止につなげるという狙いもあるようだ。

12月11日から講座を始める